



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年10月30日

上場会社名 小松マテレー株式会社 上場取引所 東
コード番号 3580 URL <https://www.komatsumatere.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 中山 大輔
問合せ先責任者（役職名） 取締役経営企画室長（氏名） 中村 重之（TEL）0761-55-8000
半期報告書提出予定日 2025年11月13日 配当支払開始予定日 2025年11月28日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	20,354	6.5	1,353	16.4	1,693	10.4	189	△88.4
2025年3月期中間期	19,113	8.1	1,163	57.9	1,534	27.7	1,629	83.0

（注）包括利益 2026年3月期中間期 177百万円（△88.8%） 2025年3月期中間期 1,590百万円（△16.7%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
2026年3月期中間期	円 銭 4.82	円 銭 —
2025年3月期中間期	40.67	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期中間期	51,024	38,929	76.0	992.97
2025年3月期	53,026	39,701	74.6	998.19

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 38,788百万円 2025年3月期 39,558百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	12.00	—	13.00	25.00
2026年3月期	—	14.00			
2026年3月期（予想）			—	13.00	27.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,000	3.7	2,650	21.5	3,200	12.7	1,400	△52.3	35.33

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有
新規1社 (社名) 小松美特料(蘇州) 咨詢有限公司

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年3月期中間期	43,140,999株	2025年3月期	43,140,999株
-------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2026年3月期中間期	4,078,229株	2025年3月期	3,510,396株
-------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数(中間期)

2026年3月期中間期	39,331,046株	2025年3月期中間期	40,078,065株
-------------	-------------	-------------	-------------

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・決算補足説明資料は、決算発表後すみやかに当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等の注記)	10

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の底堅さに加え、インバウンド需要が下支えとなり、総じて緩やかな持ち直し基調で推移しました。一方、円安や人手不足を背景とした人件費・物流費の上昇に加え、生活必需品を中心とする物価上昇が長期化し、個人消費は伸び悩みました。また、米国の関税政策動向や地政学的リスク等により先行き不透明な状況が続いています。

このような環境の中、当社事業については、国内向けは営業活動を強化した衣料分野を中心に堅調に推移し、また、生活関連資材分野が好調となりました。海外向けにおいては、欧米、中東、アジア等へさらなる拡販に努めました。その結果、国内・海外ともに増収増益となりました。

こうした状況のもと、当社グループでは、中期経営計画「KFW-2026」の達成に向け、2024年より様々な具体的施策を実行してまいりました。当中間連結会計期間においては、基盤強化課題の1つである「製造環境の整備」や生産性向上に向けた工場再編への第一歩である「第2物流センター」が8月に竣工し、9月より運用を開始しております。引き続き、積極的な設備投資を行い、生産設備の増強、労働環境の改善、環境に配慮した事業運営に努めてまいります。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は203億54百万円（前年同中間期比6.5%増）となり、営業利益は13億53百万円（同16.4%増）、経常利益は16億93百万円（同10.4%増）となり、前年同中間期比増収増益となりました。なお、親会社株主に帰属する中間純利益は非上場株式の一部について投資有価証券評価損12億32百万円を計上したことにより1億89百万円（同88.4%減）となりました。

セグメントの業績につきましては、次のとおりであります。

(繊維事業)

衣料ファブリック部門に関しては、市場の要求に応えられる高付加価値商品や環境配慮型商品を国内外の市場に積極的に訴求し、拡大を進めてまいりました。当中間連結会計期間では、スポーツ・機能分野の受注減があったものの、欧州ラグジュアリーブランドを含むファッション及び、中東民族衣装が増加したことから、当部門全体として増収となりました。

資材ファブリック部門については、リビング分野において不採算事業から撤退したものの、生活関連資材分野が大幅に増加したことから、当部門全体として増収となりました。

製品部門におきましては、連結子会社化により事業範囲が拡大したことから、増収となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の当事業の売上高は201億7百万円となりました。

(その他の事業)

物流分野の当中間連結会計期間の売上高は2億46百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当中間連結会計期間末における総資産は、510億24百万円となり、前連結会計年度末に比べ20億1百万円減少しました。これは主に有形固定資産が6億8百万円、原材料及び貯蔵品が4億16百万円増加したものの、現金及び預金が20億57百万円、有価証券及び投資有価証券が6億98百万円、受取手形が1億89百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当中間連結会計期間末における負債は、120億94百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億29百万円減少しました。これは主に支払手形及び買掛金が9億22百万円、契約負債が88百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産は、389億29百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億71百万円減少しました。これは主に自己株式が4億10百万円増加、利益剰余金が3億48百万円減少したことによるものであります。

②当期のキャッシュ・フローの概況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ22億57百万円減少し、71億72百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は5億1百万円（前年同期は24億7百万円の資金の増加）となりました。収入の主な内訳は、投資有価証券評価損12億32百万円、税金等調整前中間純利益7億46百万円、支出の主な内訳は、仕入債務の減少額9億18百万円、法人税等の支払額5億95百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は14億12百万円（前年同期は41億14百万円の資金の減少）となりました。収入の主な内訳は、有価証券の償還による収入30億円、投資有価証券の売却及び償還による収入4億71百万円、支出の主な内訳は、有価証券の取得による支出30億円、固定資産の取得による支出11億47百万円、投資有価証券の取得による支出5億6百万円、定期預金の預入による支出2億円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は13億37百万円（前年同期は4億25百万円の資金の減少）となりました。これは主に、配当金の支払額5億16百万円、自己株式の取得による支出4億77百万円によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、2025年9月4日に公表いたしました通期の業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日公表の「特別損失(投資有価証券評価損)の計上並びに第2四半期（中間期）業績予想と実績値の差異に関するお知らせ及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,430	7,372
受取手形	1,231	1,041
売掛金	6,471	6,408
有価証券	4,000	4,695
商品及び製品	1,656	1,468
仕掛品	948	872
原材料及び貯蔵品	1,985	2,402
その他	182	208
貸倒引当金	△20	△16
流動資産合計	25,885	24,453
固定資産		
有形固定資産	8,009	8,617
無形固定資産	1,800	1,923
投資その他の資産		
投資有価証券	16,185	14,791
繰延税金資産	908	978
その他	382	404
貸倒引当金	△145	△144
投資その他の資産合計	17,331	16,030
固定資産合計	27,140	26,571
資産合計	53,026	51,024

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年 3 月 31 日)	当中間連結会計期間 (2025年 9 月 30 日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,508	4,585
未払法人税等	645	674
契約負債	131	43
賞与引当金	770	894
その他	2,114	1,854
流動負債合計	9,171	8,053
固定負債		
退職給付に係る負債	3,506	3,575
その他	647	465
固定負債合計	4,153	4,041
負債合計	13,324	12,094
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,680	4,680
資本剰余金	4,610	4,610
利益剰余金	31,998	31,649
自己株式	△3,830	△4,241
株主資本合計	37,458	36,698
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,984	1,996
為替換算調整勘定	93	72
退職給付に係る調整累計額	22	20
その他の包括利益累計額合計	2,100	2,089
非支配株主持分	142	141
純資産合計	39,701	38,929
負債純資産合計	53,026	51,024

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 9 月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 9 月30日)
売上高	19,113	20,354
売上原価	15,026	15,804
売上総利益	4,087	4,549
販売費及び一般管理費	2,924	3,195
営業利益	1,163	1,353
営業外収益		
受取配当金	112	91
持分法による投資利益	172	167
為替差益	19	—
その他	114	98
営業外収益合計	418	357
営業外費用		
支払利息	0	3
為替差損	—	10
不動産賃貸原価	20	—
為替予約評価損	0	1
貸倒引当金繰入額	25	—
その他	1	2
営業外費用合計	47	18
経常利益	1,534	1,693
特別利益		
固定資産売却益	—	0
投資有価証券売却益	—	321
投資有価証券償還益	101	—
関係会社清算益	711	—
特別利益合計	813	322
特別損失		
固定資産除却損	33	35
投資有価証券評価損	—	1,232
災害損失	23	0
資産除去債務履行差額	14	—
特別損失合計	71	1,268
税金等調整前中間純利益	2,275	746
法人税、住民税及び事業税	366	628
法人税等調整額	266	△71
法人税等合計	632	557
中間純利益	1,642	189
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に 帰属する中間純損失 (△)	13	△0
親会社株主に帰属する中間純利益	1,629	189

中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	1,642	189
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	333	16
為替換算調整勘定	△405	△20
退職給付に係る調整額	△0	△2
持分法適用会社に対する持分相当額	20	△4
その他の包括利益合計	△52	△11
中間包括利益	1,590	177
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	1,576	178
非支配株主に係る中間包括利益	13	△0

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	2,275	746
減価償却費	609	686
のれん償却額	—	30
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	45	66
貸倒引当金の増減額(△は減少)	19	△4
持分法による投資損益(△は益)	△172	△167
受取利息及び受取配当金	△144	△122
支払利息	0	3
固定資産除売却損益(△は益)	33	35
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△321
投資有価証券償還損益(△は益)	△101	—
関係会社清算損益(△は益)	△711	—
投資有価証券評価損益(△は益)	—	1,232
売上債権の増減額(△は増加)	629	244
棚卸資産の増減額(△は増加)	204	△166
仕入債務の増減額(△は減少)	86	△918
その他	△7	△367
小計	2,765	977
利息及び配当金の受取額	150	123
利息の支払額	△0	△3
法人税等の支払額	△508	△595
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,407	501
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△200
有価証券の取得による支出	△3,000	△3,000
有価証券の償還による収入	500	3,000
投資有価証券の取得による支出	△734	△506
投資有価証券の売却及び償還による収入	601	471
固定資産の取得による支出	△1,358	△1,147
固定資産の売却による収入	—	0
長期貸付金の回収による収入	5	—
その他	△128	△30
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,114	△1,412
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△402	△516
自己株式の取得による支出	△0	△477
その他	△22	△343
財務活動によるキャッシュ・フロー	△425	△1,337
現金及び現金同等物に係る換算差額	113	△9
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,018	△2,257
現金及び現金同等物の期首残高	11,565	9,430
現金及び現金同等物の中間期末残高	9,547	7,172

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	中間連結 損益計算書 計上額 (注2)
	繊維事業	その他の事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	18,852	261	19,113	—	19,113
セグメント間の内部売上高 又は振替高	15	983	999	△999	—
計	18,868	1,244	20,112	△999	19,113
セグメント利益	1,120	36	1,157	5	1,163

(注) 1 セグメント利益の調整額は、すべてセグメント間の取引調整であります。

2 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	中間連結 損益計算書 計上額 (注2)
	繊維事業	その他の事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	20,107	246	20,354	—	20,354
セグメント間の内部売上高 又は振替高	16	999	1,015	△1,015	—
計	20,124	1,245	21,369	△1,015	20,354
セグメント利益	1,313	34	1,348	5	1,353

(注) 1 セグメント利益の調整額は、すべてセグメント間の取引調整であります。

2 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。